

精神障害者の地域生活を支援する
～ 保健、医療、福祉、地域の事業所 連携による
地域における支援体制づくり ～

徳島保健所 大木元 繁

徳島保健所の概要

1. 5次保健医療圏図



県庁所在地の徳島市を中心に、人口、産業、交通、保健医療・福祉などの機関が集積。

精神科病院病床数は、県下全体の74%が管内に集中。

常に、全国上位の推移をたどる精神科病院の平均在院日数や人口比の精神科病床数に反し、地域移行・地域定着支援の個別給付の利用者数は全国最下位レベル。

基本情報

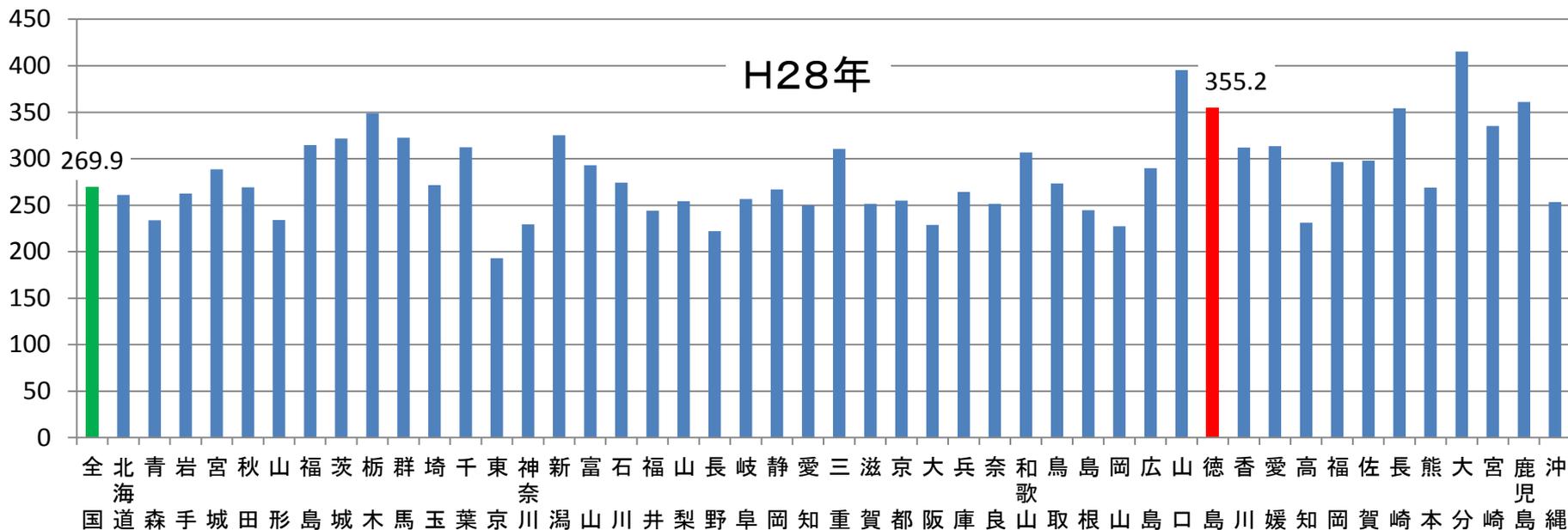
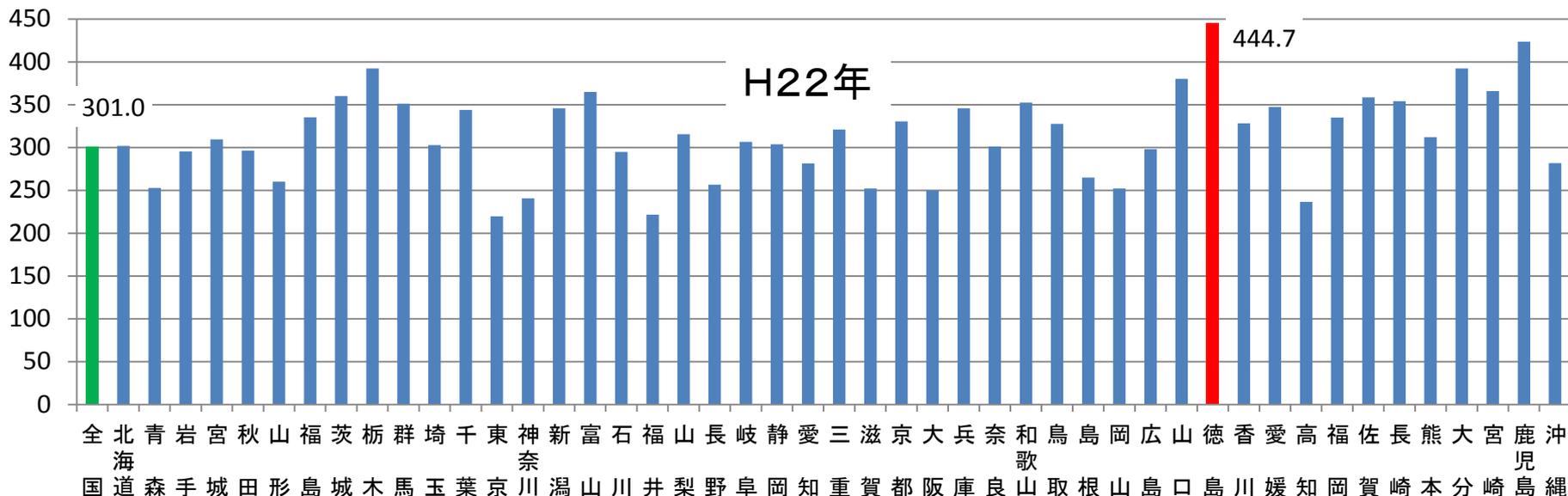
市町村数 (H29年1月現在)	3市9町1村	
人口 (H29年1月1日現在)	492,034人	
精神科病院数 (H29年6月末)	12病院	
精神科病床数 (H29年6月末)	2,655床	
入院精神障害者数 (H29年6月末)	3か月未満: 387人 (16.6%)	
	3か月以上1年未満: 254人 (10.9%)	
	1年以上: 1,690人 (72.5%)	
	うち65歳未満: 653人	
	うち65歳以上: 1,037人	
退院率 (H29年6月末)	入院後3か月時点: 63.8% 入院後6か月時点: 81.3% 入院後1年時点: 87.9%	
相談支援事業所数 (H28年10月)	基幹相談支援センター: 0ヶ所 一般相談事業所数: 19ヶ所 特定相談事業所数: 40ヶ所	
障害福祉サービスの利用状況 (H29年4月)	地域移行支援サービス: 4人 地域定着支援サービス: 1人	
(自立支援)協議会の開催頻度 (H29年度)	(モデル圏域: 徳島市自立支援協議会) 25回/年内 内訳… 定例会6回・運営会12回 課題検討会5回・全体会2回	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	障害保健福祉圏域 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	2カ所
	市町村(自立支援協議会数) <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	8カ所

徳島保健所の仕事のPR

- 平成26年度都道府県医療介護連携調整実証事業のモデル地域に選ばれ、要介護者の退院支援ルールを策定し、平成27年3月から運用開始、平成28年4月から徳島県全域で運用開始。
- 災害時のコーディネーター（医療、保健衛生、薬務、介護福祉）を設置し、事務局としての位置付け。
- 徳島県医療ビッグデータ分析事業の事務局として、国保と高齢者医療のレセプトを分析。

精神病床の平均在院日数

資料:厚生労働省「病院報告」



モデル事業をすることになって 前年度にしたこと

- 地域移行等に熱心な精神保健福祉士から「**もっと保健所が動いてくれないと**」と言われた。
- そこで精神科病院をアポをとって地域移行について、ヒアリングを兼ねて説明に回った。
- 同行した保健師から、「所長が行くと、院長等が出てきてくれて対応が違う。」と言われた。

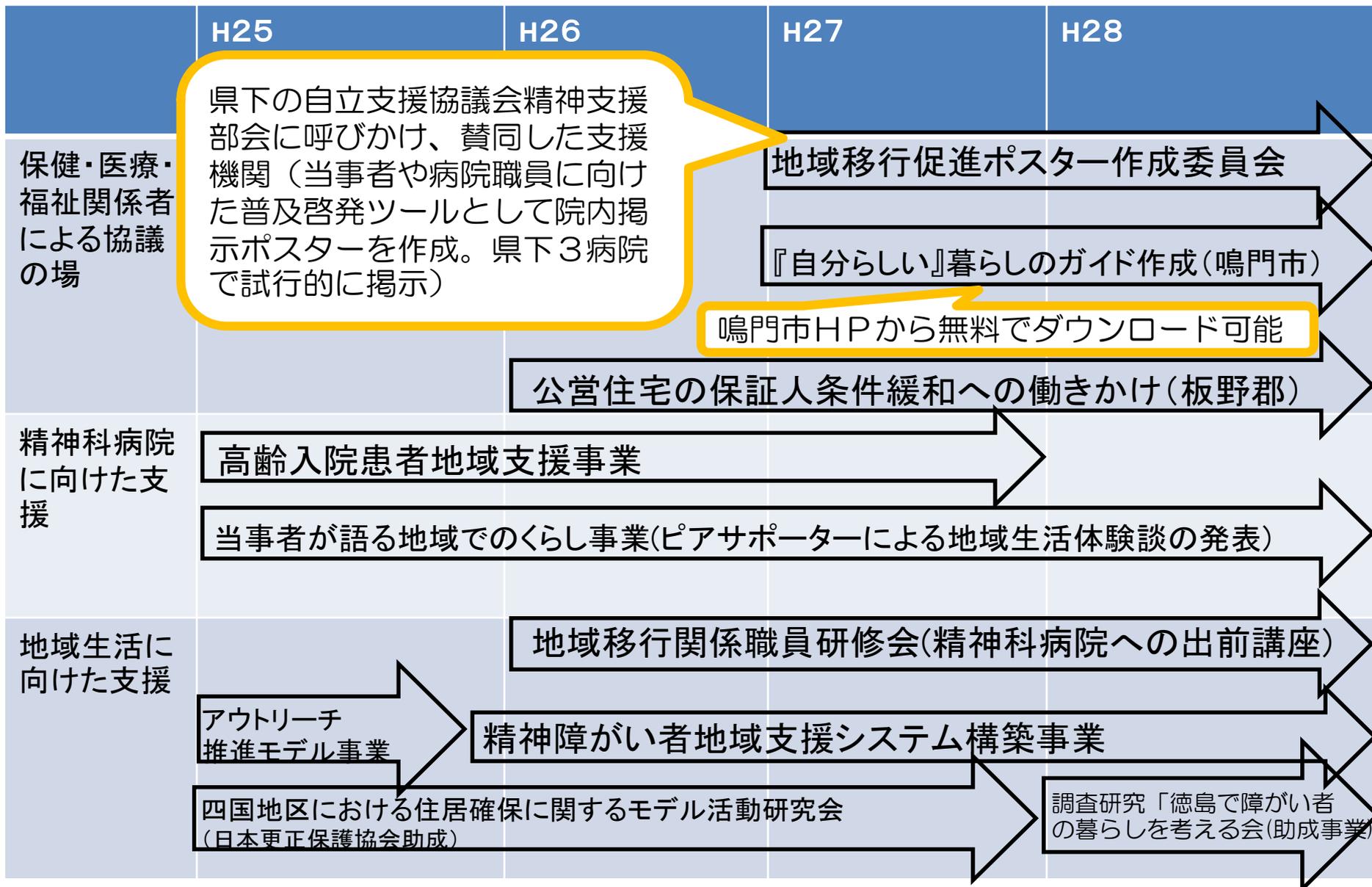
広域アドバイザー等から学んだこと①

- 地域相談支援は、1年以上入院患者にとって、利用の権利があるサービス
- その地域にこのサービスがなければ、障害者の権利侵害になる(市町村の責任)
- 病院だけの努力では、退院支援が困難な入院患者にこのサービスを紹介する義務がある(地域援助事業者紹介義務)

広域アドバイザー等から学んだこと②

- 退院に反対する権利は、家族にはない。
- 市町村の担当者は病院長の理解を得て、長期入院している人を面会するとよい。
- 保健所が事業所と協働でピアサポーター養成と研修を行い、その中から地域移行支援員を雇用するとよい。

保健所管内でのこれまでの取組



保健・医療・福祉による協議の場の設置

■ 徳島市障害者自立支援協議会（H29.9.21課題検討会,H29.12.21定例会）

○目的:「地域移行に関する専門部会」設置の要望と意見交換

○内容:県内における専門部会の設置状況や他の取組状況、630調査の速報値等を説明

H29.9 業務量の負担増を心配する声上がるが、「前向きに検討する」と返答

H29.11 障害福祉計画策定委員会の場で「H30年度の設置を目指す」との発表

 H29.12 全体会で「地域移行に向けた専門部会」の設置が諮られることが決定

■ 地域包括ケアシステム構築検討会（H29.7～ 月1回程度開催）

○メンバー：広域・密着AD、徳島市・委託相談支援事業所、県PSW協会、日精看県支部、精神保健福祉センター、県健康増進課、保健所

○検討事項：地域の課題を明確にし、地域移行・地域定着の推進に向けた事業計画、包括ケアシステムの構築状況の評価など

今後の
課題

徳島市の専門部会の立ち上げ・運営に向けたバックアップ

- ・ 圏域の医療、福祉、行政の連携体制の整備に向けた会議のあり方
- ・ 新630調査の分析と活用
- ・ 障がい分野と高齢分野の連携

むすびに

- 保健の役割:「見る」「つなぐ」「動かす」
- 保健所は、今回のテーマに関し、つなぎをすること、課題を整理することが求められている。
- 社会資源やツールは整ってきている。医療との関係性に強みがある保健所が本気で動くべき。
- 「公衆衛生マインド」を持って、保健所長がリーダーシップをとりましょう。